

計画の名称	「生活基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現（防災・安全）																																											
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）			交付対象	行田市																																							
計画の目標	下水道整備を行い、安心・安全、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																																											
計画の成果目標（定量的指標）	①合流式下水道改善率を17%（H25当初）から100%（H25末）に増加させる。 ②ポンプ場における長寿命化計画策定率を0%（H25当初）から33%（H29末）に増加させるとともに、長寿命化事業を実施する。 ③下水道管渠における長寿命化計画策定率を0%（H26当初）から50%（H29末）に増加させるとともに、長寿命化事業を実施する。 ④緑町ポンプ場管理棟の耐震化（100%）を図るため耐震化事業を実施する。 ⑤緑町ポンプ場における長寿命化対策の実施率を0%（H27当初）から33%に増加させる。 ⑥ストックマネジメント計画の策定率を45%（H29末）に増加させるとともに、ストックマネジメント事業を実施する。																																											
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H27末) (H25末)</th> <th>最終目標値 (H29末) (H25末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① ①合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積（ha）／合流区域面積（447.6ha）</td> <td>17%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td rowspan="6"></td> </tr> <tr> <td>② ②ポンプ場における長寿命化計画策定率及び事業の実施 長寿命化計画策定済みのポンプ場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべきポンプ場数（3箇所）</td> <td>0%</td> <td>22%</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>③ ③下水道管渠における長寿命化計画策定率及び事業の実施 長寿命化計画策定済みの処理分区数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理分区数（2箇所）</td> <td>(H26当初) 0%</td> <td>25%</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>④ ④緑町ポンプ場（管理棟）における耐震化事業の実施 耐震化済の施設の数（箇所）／耐震化をすべき施設の数（1箇所）</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>⑤ ⑤ポンプ場における長寿命化事業の実施 長寿命化対策実施済の資産数（資産）／長寿命化対策をすべき資産の数（57資産）</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>⑥ ⑥ストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント作業済み項目数（項目）／ストックマネジメント作業項目数（11項目）</td> <td></td> <td></td> <td>45%</td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末) (H25末)	最終目標値 (H29末) (H25末)	① ①合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積（ha）／合流区域面積（447.6ha）	17%	100%	100%		② ②ポンプ場における長寿命化計画策定率及び事業の実施 長寿命化計画策定済みのポンプ場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべきポンプ場数（3箇所）	0%	22%	33%	③ ③下水道管渠における長寿命化計画策定率及び事業の実施 長寿命化計画策定済みの処理分区数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理分区数（2箇所）	(H26当初) 0%	25%	50%	④ ④緑町ポンプ場（管理棟）における耐震化事業の実施 耐震化済の施設の数（箇所）／耐震化をすべき施設の数（1箇所）	0%	0%	100%	⑤ ⑤ポンプ場における長寿命化事業の実施 長寿命化対策実施済の資産数（資産）／長寿命化対策をすべき資産の数（57資産）	0%	0%	33%	⑥ ⑥ストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント作業済み項目数（項目）／ストックマネジメント作業項目数（11項目）			45%
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																																								
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末) (H25末)	最終目標値 (H29末) (H25末)																																									
① ①合流式下水道改善率 合流式下水道改善済み面積（ha）／合流区域面積（447.6ha）	17%	100%	100%																																									
② ②ポンプ場における長寿命化計画策定率及び事業の実施 長寿命化計画策定済みのポンプ場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべきポンプ場数（3箇所）	0%	22%	33%																																									
③ ③下水道管渠における長寿命化計画策定率及び事業の実施 長寿命化計画策定済みの処理分区数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理分区数（2箇所）	(H26当初) 0%	25%	50%																																									
④ ④緑町ポンプ場（管理棟）における耐震化事業の実施 耐震化済の施設の数（箇所）／耐震化をすべき施設の数（1箇所）	0%	0%	100%																																									
⑤ ⑤ポンプ場における長寿命化事業の実施 長寿命化対策実施済の資産数（資産）／長寿命化対策をすべき資産の数（57資産）	0%	0%	33%																																									
⑥ ⑥ストックマネジメント計画策定率 ストックマネジメント作業済み項目数（項目）／ストックマネジメント作業項目数（11項目）			45%																																									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	992百万円	A	992百万円	B	-	C	-	D	-	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%																																

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
行田市下水道事業運営審議会条例による、行田市下水道事業運営審議会にて実施。	平成31年3月
	公表の方法
	市ホームページ、窓口

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A 基幹事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	国費率(基本)	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費(百万円)	備考
												H25	H26	H27	H28	H29		
A1-1-1	下水道	一般	行田市	直接	行田市	合流	その他	1/2	行田市合流改善事業	L=583m（遮集管増補）・事後評価	行田市						340	合流改善計画
A1-1-2	下水道	一般	行田市	直接	行田市	ポンプ場	改築	1/2	行田市長寿命化計画（ポンプ場）	長寿命化計画の策定、ポンプ場の改築	行田市						325	長寿命化計画
A1-1-3	下水道	一般	行田市	直接	行田市	汚水	改築	1/2	行田市長寿命化計画（管渠）	長寿命化計画の策定、管渠の改築	行田市						223	長寿命化計画
A1-1-4	下水道	一般	行田市	直接	行田市	ポンプ場	設置	1/2	行田市耐震化事業（緑町ポンプ場管理棟）	ポンプ場管理棟の改築（耐震）・設計	行田市						40	
A1-1-5	下水道	一般	行田市	直接	行田市	汚水・ポンプ場	改築	1/2	行田市ストックマネジメント計画	ストックマネジメント計画の策定	行田市						64	ストックマネジメント計画
												合計	992					

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況													・長寿命化対策及び耐震化事業に基づき、市内ポンプ場基幹施設である緑町ポンプ場の改築更新及び耐震化を実施することにより、市民の安全で安心な下水道の維持管理に大きく貢献できた。				
II 定量的指標の達成状況													①合流式下水道改善率を17% (H25当初) から100% (H25末) に増加させる。	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
													最終実績値	100%			
													②ポンプ場における長寿命化計画策定率を0% (H25当初) から33% (H29末) に増加させるとともに、長寿命化事業を実施する。	最終目標値	33%	目標値と実績値に差が出た要因	
													最終実績値	67%			
													③下水道管渠における長寿命化計画策定率を0% (H26当初) から50% (H29末) に増加させるとともに、長寿命化事業を実施する。	最終目標値	50%	目標値と実績値に差が出た要因	長寿命化計画策定中にストックマネジメント支援制度が創設され、長寿命化計画からストックマネジメント計画の策定に移行したため。
													最終実績値	0%			
													④緑町ポンプ場管理棟の耐震化(100%)を図るため耐震化事業を実施する。	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
													最終実績値	100%			
													⑤緑町ポンプ場における長寿命化対策の実施率を0% (H27当初) から33%に増加させる。	最終目標値	33%	目標値と実績値に差が出た要因	当初単年度で工事を予定していたが、平成29年度～30年度の2か年で工事を発注したことにより、平成29年度中は機器の製作までとなり、機器の設置に至らなかったため、事業進捗率は目標を下回っている。残り10資産については、平成30年度に工事完了。
													最終実績値	16%			
													⑥ストックマネジメント計画の策定率を45% (H29末) に増加させるとともに、ストックマネジメント事業を実施する。	最終目標値	45%	目標値と実績値に差が出た要因	
													最終実績値	45%			

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項 (今後の方針等)

ポンプ場の長寿命化を図るため、次期 (H30～H34) 社会資本総合整備計画においても、ポンプ場の改築工事を実施する。
増大した施設ストックの計画的・効率的な管理を実施するため、次期社会資本総合整備計画においても、ストックマネジメント計画策定のための点検・調査及び、老朽化した機能不足のマンホール蓋の改築を実施する。

(参考様式3)

(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	「生活基盤が基盤が充実した便利で快適なまちづくり」の実現 (防災・安全)		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	交付対象	行田市

